

点灯時間を自動調節

インフォメックス松本 仮設信号機を投入

インフォメックス松本(長野県安曇野市、木田光広社長)は、交通誘導業務を省人化する仮設信号機「ミリパー!」を4月に発売する。全球測位システム(GPS)連動タイマーにより信号切り替えを行う従来の機能に加え、交通量に応じて信号点灯時間を自動調節する機能を新たに設けた。誘導員による切り替え時間の調整作業などを削減できる。レンタル業界を中心に提案し、12月までに50セットの販売を目指す。消費

税抜きの価格は2台セットで150万円。ミリパー!は工事などでの片側通行規制時に替えており、片側だけ使用する仮設信号機。車両が多く通行する場合には誘導員が点灯時



間を調節するなどしていた。点灯時間の自動調節の実現により、交通誘導業務の省人化に

面を高精度に検知する。GPS連動タイマーで動かしながら車両検知を基に青信号を長

「ミリパー!」はミリ波レーダーの採用により、天候に左右されず車両を高精度に検知できる

寄与する。

センサーには自動車などに使用するミリ波レーダーを採用。天候に左右されず約20m先の車

時間点灯したり、車両検知までは片側を常時赤信号にしたりなど、状況に応じて四つの点灯パターンを利用できる。

また、スタンドとソナー電源部は従来製品と共通にして、置き換えられる設計とした。持ち手を付けることで、組み立て作業性も良くした。木田社長は「今持っているものを活用してほしい」とする。

インフォメックス松本は名古屋電機工業の子会社で、GPSソーラー式信号機・発光ダイオード(LED)標示機を手がける。今後は、これらの技術を応用した別の製品も開発する予定。